



TOHOKU
UNIVERSITY

東北大学における 災害復興・地域再生の取組

東北大学災害復興・地域再生重点研究事業

東北大学災害復興新生研究機構の創設

2011年4月創設

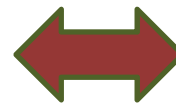
東日本大震災の被災地域における中核大学として、被災からの復興・地域再生を先導する研究・教育・社会貢献等に戦略的かつ組織的に取り組み、その成果を発信・実践する。

行政・地域との連携 ワンストップサービス
(復興ビジョン・計画への貢献)

様々なニーズ(可能性)に
柔軟に対応し得る枠組み

東北大学
災害復興新生研究機構

世界・日本の大学等の
英知を集結する拠点



政府・復興庁

自治体・住民

国内外関係機関・企業

基本理念

■ 理念1 復興・地域再生への貢献

これまで経験したことのない大震災からの復興・地域再生に被災地の知の拠点として貢献

■ 理念2 災害復興に関する総合研究開発拠点形成

東北・日本のみならず、災害復興を目的とした総合研究開発のための世界的COEを形成

■ 災害復興に貢献するため、これまでの部局の枠にとらわれない横断的な研究組織で課題解決型のプロジェクトを形成し、戦略的・組織的に取り組む

プロジェクト



東北大学
復興アクション100

復興・地域再生支援研究

総合研究開発拠点形成

災害科学国際研究推進プロジェクト
〔新設：災害科学国際研究所〕

地域医療再構築プロジェクト

環境エネルギープロジェクト

情報通信再構築プロジェクト

東北マリンサイエンスプロジェクト

地域産業復興支援プロジェクト

復興産学連携推進プロジェクト

地域に根ざした社会・くらしの再生

世界をリードする先端科学技術

災害科学国際研究推進プロジェクト

- 災害科学国際研究所の創設
- 震災アーカイブプロジェクト ～みちのく震録伝～



東北大学

東北大学 災害科学国際研究所 の創設

設置目的

歴史的・世界的な東日本大震災を経験した東北大学は、新たな学際的研究組織として「災害科学国際研究所」を設置し、国内外の有力研究機関と協力しながら、災害科学に関する世界最先端の研究を推進する。

また、被災自治体等と連携を強化し、歴史的な視点を重視しながら、巨大災害に対する防災・減災・復旧・復興プランを提案する。



災害科学国際研究所の概要

人間・社会対
応研究部門

災害医学
研究部門

災害リスク
研究部門

情報管理
社会連携
部門

寄附研究部門

地域・都市再
生研究部門

災害理学
研究部門

☆主な研究課題

- 巨大地震・津波発生メカニズムの解明と次世代地震・津波観測技術の開発
- 東日本大震災の被害実態と教訓に基づく防災・減災技術の再構築
- 被災地支援学の創成と歴史的視点での災害サイクル・復興の再評価
- 都市の耐災害性向上と重層化
- 広域巨大災害対応型医学・医療の確立
- 新たな防災・減災社会のデザインと災害教訓の語り継ぎ

震災アーカイブプロジェクト ～みちのく震録伝～



みちのく震録伝とは

みちのく：宮城県、福島県、岩手県を中心に東北地方全域

震：東日本大震災

録：災害の記憶、記録、事例、知見を記録する

伝：災害の伝承、国内外へ伝達する

本アーカイブプロジェクトの特徴

- 数十社の企業がシステム構築や情報収集に協力
- あらゆる情報を幅広く収集し、アーカイブすること。
- 本システムで得られた知見を、防災・減災対策に活用するかたちで情報発信すること。
- 災害発生以降の被災地の復旧・復興過程の現況を記録し、リアルタイムに発信すること。
- 防災教育に関する情報を提供できること。

2012年3月11日
災害科学の国際研究協力
共同宣言フォーラム

“Spirit of the Tohoku University 2011”

-Reunion and Incubation of the Global Research Network-

ハーバード大学(アメリカ)
カリフォルニア大学(アメリカ)
ハワイ大学(アメリカ)
清華大学(中国)
ロンドン大学(イギリス)
ドイツ連邦航空宇宙センター(ドイツ)
フィレンツェ大学(イタリア)
イスタンブール工科大学(トルコ)
ニューサウスウェルス大学(オーストラリア)

東京大学
京都大学
名古屋大学
神戸大学
福島大学
新潟大学